

第 3 7 期 決算公告

奈良市南京終町一丁目93番地2

南都コンピュータサービス株式会社

代表取締役社長 西岡 英俊

貸 借 対 照 表

(2023年 3月31日 現在)

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I. 流 動 資 産	829,070,472	I. 流 動 負 債	67,937,539
現金及び預金	737,317,942	買 掛 金	1,330,990
売 掛 金	81,464,960	未 払 金	0
未成業務支出金	8,058,050	前 受 収 益	0
商 品	1,514,055	未 払 費 用	4,470,491
原 材 料	715,465	未 払 賞 与	39,869,662
未 収 入 金	0	預 り 金	1,959,396
未収還付法人税等	0	仮 受 金	0
前 渡 金	0	未 払 法 人 税 等	10,369,900
前 払 費 用	0	未 払 消 費 税	9,937,100
仮 払 金	0	リ ー ス 債 務	0
		仮 受 消 費 税	0
II. 固 定 資 産	119,344,693		
有形固定資産	3,990,832		
建物附属設備	287,274		
機械及び装置	1,844,193	II. 固 定 負 債	252,808,143
車両運搬具	0	退職給付引当金	252,808,143
工具器具備品	29,365	リ ー ス 債 務	0
リース資産	0	負 債 合 計	320,745,682
建設仮勘定	1,830,000	純 資 産 の 部	
無形固定資産	2,902,668	I. 株主資本	627,669,483
電話加入権	576,000	資本金	10,000,000
ソフトウェア	2,326,668	利益剰余金	970,069,483
ソフトウェア仮勘定	0	利 益 準 備 金	2,500,000
投資その他の資産	112,451,193	その他利益剰余金	967,569,483
差入保証金	0	(繰越利益剰余金)	967,569,483
長期前払費用	11,494,810	自己株式	-352,400,000
繰延税金資産	100,956,383	純 資 産 合 計	627,669,483
資 産 合 計	948,415,165	負債及び純資産合計	948,415,165

個 別 注 記 表

○ 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価の方法

(1) 棚卸資産

- ・商品 先入先出法による原価法
- ・原材料 先入先出法による原価法

(2) 有価証券

移動平均法による原価法

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産（リース資産を除く）

建物、建物附属設備及び構築物の減価償却は定額法、その他の有形固定資産の減価償却は、定率法による。

(2) 無形固定資産（リース資産を除く）

無形固定資産のソフトウェア償却は、定額法による。

なお、自社利用のソフトウェアについては、当社で定める利用可能期間（５年）に基づいて償却する。

(3) リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係る「有形固定資産」及び「無形固定資産」中のリース資産は、リース期間を耐用年数とした定額法による。なお、残存価格については、リース契約上に残価保証の取決めがあるものは当該残価保証額とし、それ以外のものは零とする。

3. 重要な引当金の計上方法

退職給付引当金は、従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき、必要額を計上する。

4. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理方法は、税抜方式を採用する。

5. リース取引の処理方法

所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が平成２０年４月１日前に開始する事業年度に属するものについては、通常の賃貸借取引に準じた会計処理による。

○ 貸借対照表に関する注記

1. 減価償却累計額

１７，９５８，４５９円

2. 貸借対照表に計上した固定資産のほか、車両運搬具については、リース契約により使用しております。

○ 損益計算書に関する注記

1. 一株当たり当期純利益

１４９，３６３円８０銭

○ 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 当該事業年度の末日における発行済株式の総数

普通株式 ２００株

2. 当該事業年度の末日における自己株式の数

普通株式 ８０株

3. 当該事業年度中に行った剰余金の配当に関する事項

配当財産の種類	金銭
配当財産の帳簿価額	100,000,000円

○ <u>当期純利益</u>	17,923,656円
----------------	-------------